

# 北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第15週(令和8年4月6日～令和8年4月12日)

<発生動向>

第15週は腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。腸管出血性大腸菌感染症は、全く症状のないこともありますが、子どもや高齢者では、重篤な合併症を起こすことがあり、時には死に至ることもある病気です。

腸管出血性大腸菌は、牛など動物の腸管にいる菌で、主な原因食品は、牛肉や牛レバーなどの生食や加熱不十分な肉類ですが、食肉等から二次汚染された食品などあらゆる食品が原因となります。生肉を調理する際は、「中心部までしっかり加熱」、「生肉を触ったトングで焼いた肉を取り分けず」、「生肉を扱う箸と食べる箸を分ける」ようにしましょう。調理前、生肉を触った後、食事前、排せつ後、おむつ替え後は石けんと流水でよく手を洗いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	44	16	221	220	3,494
腸管出血性大腸菌感染症	2	4	7	19	51	445
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	1	27	15	419
梅毒	2	33	12	183	152	2,767
百日咳	1	19	5	98	97	2,219

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	2	0.09	0.26	22	0.18	2,890	0.77
インフルエンザ	30	1.30	3.96	161	1.32	12,086	3.21
急性呼吸器感染症	833	36.22	50.65	4,992	40.92	161,916	43.40
RSウイルス感染症	16	1.23	1.15	74	1.06	1,059	0.47
咽頭結膜熱	16	1.23	1.00	53	0.76	466	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	2.46	2.62	337	4.81	5,058	2.23
感染性胃腸炎	79	6.08	7.54	359	5.13	10,481	4.62
水痘	1	0.08	0.46	28	0.40	738	0.32
手足口病	1	0.08	0.31	33	0.47	186	0.08
伝染性紅斑	1	0.08	0.00	2	0.03	166	0.07
突発性発しん	5	0.38	0.62	27	0.39	510	0.22
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	5	0.07	49	0.02
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	3	0.04	52	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
流行性角結膜炎	4	0.67	0.50	30	1.15	225	0.33
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	1	0.50	0.00	1	0.07	50	0.10
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	27	0.06

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。  
 ※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。  
 ○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。